

## 平成16年度後期「学生による授業評価アンケート」調査実施要綱

### 1. 実施目的

学生に充実した教育を施すことは、大学が有する大きな責務であり、大学レベルにふさわしい教育の質を確保するためには、計画(PLAN)、実施(DO)、評価(CHECK)、解決(ACTION)を繰り返すPDCAシステムを構築することが有効である。このPDCAシステムの中の「CHECK」機能の一部として、学生による授業評価アンケート調査がある。個々の教員が授業に対する様々な工夫を施しているが、その効果をさらに高めるためには、個々の授業の現状を把握することが必要になる。アンケートでは評価できない項目もあり、また、学生からの回答も全て正しいとは限らないが、授業を実際に受けた学生からの意見を集約し、授業の改善に役立てることは重要になる。このような背景により、学生による授業評価アンケートを実施し、授業についての各教育組織と各担当教員の認識を高め、カリキュラムや授業方法等の改善に資することを目的とする。

### 2. アンケート調査実施主体

学士課程教育センター 教育評価部（以下「評価部」という）が実施する。

### 3. アンケート調査の実施内容

- (1) 平成16年度後期の開講科目をもとに実施する。
- (2) 対象授業科目は、原則として学士課程教養的教育科目（個別科目）と学士課程専門的教育科目（講義科目、演習科目）とする。なお、講義科目及び演習科目ともに受講者数が10名以上のものとする。
- (3) 調査項目は評価部が策定したものを基本とするが、各学部で追加することも可能とする。なお、その場合は、評価部に報告することとする。
- (4) 演習科目も講義科目と同一のアンケート用紙を利用する。ただし、演習科目においては、評価部が指定する幾つかの調査項目は削除することも可能とする。なお、その場合は、評価部に報告することとする。
- (5) アンケート調査、集計、及び公表は科目（講義コード）ごとに実施する。
- (6) アンケート用紙等は、評価部が印刷し、各学部へ送付する（外部委託）。

### 4. アンケート調査の集計

- (1) アンケート調査の各調査項目の集計とデータの電子化は評価部が行う。
- (2) 科目ごとの各調査項目の回答分布を集計する。
- (3) 自由記述欄に書かれている内容を電子媒体化する。
- (4) 集計結果は、原則として次のとおり編集、活用するものとする。  
評価部が策定した調査項目については、評価部が科目別、教育組織（学科、コース等）別、学部別及び全学の平均について、当該実施学期分及び年次推移（科目別は除く）として図表化する。  
評価部による集計結果等については、当該学部に関係データとして提供するので、当該学部の責任と判断により有効に活用するものとする。

### 5. 集計結果の公表等

- (1) 評価部が科目別、教育組織（学科、コース等）別、学部別及び全学平均の図表化したものをホームページにより公表することを原則とする。
- (2) ホームページにおける教育組織（学科、コース等）別、学部別及び全学平均の公表に当たってはアクセス制限を設けないが、科目別ページの公表は学内からのアクセスのみに限定する。
- (3) 科目別の集計結果については、担当教員の申し出により、未公表とすることも可能とする。  
なお、その場合には、担当教員による未公表の理由をホームページに公表することとする。
- (4) 自由記述欄に書かれている意見は、ホームページに公開しない。

### 6. その他

この要領に定めるもののほか、アンケート調査実施について必要な事項は、評価部が別に定める。